

Epistula

エピストウラ … epistula,ae,f. 手紙、文章【ラテン語】

vol. 21

2010.10【Oct.】-12【Dec.】

「芸短フェスタ2010」開催!



2006年から始まった「芸短フェスタ」は今年で5回目。今回も10月から12月まで、3か月間にわたり30を超えるイベントを開催します。各種作品展や演奏会、創作音楽劇、ワークショップ（公開講座）、講演会など、県内各地で多彩なイベントを予定しています。

音楽科が総力を挙げる「第46回定期演奏会」は10月11日（月・祝）に開催。今回は多くの方が来場できるように昼公演（開演13:30）としました。芸文短大合唱団による混声合唱「リトルジャズミサ（チルクット作曲）」、同管弦楽団によるチャイコフスキーやストラヴィンスキー、ベートーヴェンのオーケストラ曲などを演奏します。10月30日（土）、大分市中心部のガレリア竹町ドーム広場

を中心に行う「国際文化フェスタ」は内容の多彩さで話題を呼びそうです。美術科が行う「ふるさとスケッチ」は杵築市と九重町宝泉寺の2か所で実施。今年4月に開設した芸文短大竹田キャンパスでは、「長湯温泉ゆ日韓短編映画祭」やサービスマーケティングの一環としての「スローライフ講座～竹田食育ツーリズム」、美術科卒業生による合同美術展などを行います。

中山学長自らがプロデュースする「学長プロジェクト」として、「手織りの魅力～誰でもできる織り物ワークショップ（小坂恵子氏）」、講演「アジアは一つになれるのか（黒田篤郎氏）」を予定しています。

このほか、10月23日、24日の両日、本学学友会主催による「第49回芸短祭^{いりどり}～彩～」を開催。毎年恒例のファッションショーや大抽選会、お笑い芸人によるステージを企画しています。

芸術の秋、文化の秋。「芸短フェスタ」で“あなたの席”が必ずみつかります。

※各イベントの内容は、芸文短大ホームページ（<http://www.oita-pjc.ac.jp/>）で随時お知らせいたします。

GEITAN presentsに 本学OG・木下美穂子さんが出演!!

今年で3回目の開催となる「芸短フェスタ」のメインイベント『GEITAN presents The Great Artists』は、「木下美穂子ソプラノリサイタル」をお贈りします。

木下さんは本学音楽科を卒業後、武蔵野音楽大学大学院、二期会オペラスタジオを修了。日本音楽コンクール第1位、日伊声楽コンクール第1位、イタリア声楽コンクール・シエナ大賞を同一年度で受賞し、国内三大声楽コンクールの三冠王として大きな話題を呼びました。海外でも数々の栄誉に輝き、現在はニューヨークを拠点に国際舞台へと活躍の場を広げています。

今回は、賛助出演として愛甲久美准教授、行天正恭准教授が第2部のオペラ『蝶々夫人』ハイライトに出演する予定です。

GEITAN presents The Great Artists木下美穂子ソプラノリサイタル

日時：11月29日（月） 開場：18:00 開演18:30

場所：iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール

入場料：全席指定 S席：2,000円 A席：1,000円

チケットのお求め

・トキハ会館3階プレイガイド

TEL:097-538-3111

・芸術文化短期大学 広報室

TEL:097-545-0542



オープンキャンパス 今年も大盛況!!

22年度第1回目のオープンキャンパスが、7月18日（日）に開催しました。連休中にも関わらず488名の参加があり、大講義室が手狭に感じられるほどの盛況ぶりでした。当日は全体説明会のあと各学科の紹介、授業内容の説明、ミニ講義や在学生との対話などが行われたほか、各学科の教員による個別の入試説明会も行われました。また、音楽科・美術科による音楽講習会や美術実技模擬試験も同時開催しました。来場された方には、ホームページや各種学校案内では伝わらない、生のキャンパスライフを体験していただけたのではないのでしょうか。今回のオープンキャンパスが、受験生や保護者のみなさまの今後の学校選びの参考になればと願っています。



音楽科ミニコンサート▲

創立50周年記念実行委員会が発足

芸文短大は1961（昭和36）年4月、別府市に設立されました。来年2011年4月に創立50周年を迎えます。この間、現在地の太田市への移転や美術科・音楽科に専攻科を設置、国際文化・情報コミュニケーション学科の増設など大きく発展し、人材育成・地域貢献をはじめ、本県の発展に尽くしてきました。卒業生も1万2千人を超えました。

そこで、創立50周年を記念したプロジェクトを検討する実行委員会（委員長・中山学長）を6月9日に立ち上げました。委員には学内理事、各学科長のほか、後援会、同窓会、学友会など学外の方も加わります。別に記念誌編集委員会も設置しました。50周年を記念する式典やイベント、新ビジョンの発表など、「芸文短大50年」を県民に強くアピールできるプロジェクトになるように検討していきます。

21年度業務実績 教育研究部門で高い評価

8月3日、大分県地方独立行政法人評価委員会（矢野利幸委員長）は、芸文短大の21年度業務実績について、「全体として計画を順調に実施している」と評価する報告書を発表しました。評価は「教育研究の質の向上」や「業務運営の改善及び効率化」「財務内容の改善」など、5項目ごとにS、A～Dの5段階で判定します。

芸文短大は平成18年度に公立大学法人に移行し、毎年度、同委員会から評価を受けてきました。これまですべて5項目ともA評価（計画どおり実施）でしたが、今回初めて、「教育研究の質の向上」部門で、最高評価のS（特筆すべき進行状況）評価を受けることができました。「外部研究資金の獲得に向けた積極的な取り組み、教育環境の充実、学長プロジェクトによる公開講座など地域と連携を進め、開かれた大学づくりに努力が払われていること」などが認められました。

授業料引き落としのお知らせ

後期授業料は10月27日（水）に指定された金融機関の口座から引き落とされます。

※10月26日（火）迄に授業料（195,000円）のご入金をお願いします。